

水稲刈取り跡・緑地管理用除草剤

農林水産省登録
第11912号

クロレートS 粒剤

信頼のブランド



手まきで
簡単!

クロレートS の計画散布で、
竹類・ササ類を適切に防除しましょう!!

枯殺力の強い非選択性の除草剤で
一年生雑草はもちろん防除困難な
竹、ササ、ススキなども枯らします

竹
節間投入に
登録拡大!

節間に穴をあけて
10~20g/本

◆ 竹・ササ防除の上手な使い方 ◆

ポイント① 効果的な処理方法

- ◆ 薬剤は竹・ササの根元だけでなく、周辺まで全面処理する。
・ 処理部分の枯葉を除去してから散布する。
- ◆ 土壌には適度な水分が必要。
- ◆ 枯れ始めるまで1~2ヶ月かかる。



ポイント② 春の散布 3~6月頃

- 小さいうちが最も効果的。
- ◆ 春季「タケノコ発生時」に散布。

ポイント③ 秋の散布 9~10月頃

- 芽子(タケノコになる部分)形成と肥大成長を抑制します!
- ◆ 竹・ササの大きさに応じて登録薬量内で調整する。

クロレートは土壌でゆるやかに分解され消失しますので駐車場・宅地周り・水稲刈取り跡でも使えます

お墓周りに



駐車場・空地に



水稲刈取り跡に



株式会社 エス・ディー・エス バイオテック

除草剤

クロレートS 粒剤

包装 クロレートS 5kg × 4袋

有効成分：塩素酸ナトリウム・・・50.0%
 性状：類白色1190μm以上の粒状
 毒性：劇物

特長

- 強い酸化作用で殺草効果を示します。
- 枯殺力の強い非選択性の除草剤で、一年生雑草はもちろん防除困難なササ、竹、ススキなども枯らします。
- 効果発現後、ゆるやかに分解して土壌に残りません。

適用作物・雑草と使用方法

作物名	適用場所 使用目的	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農薬の総使用回数
樹木等	公園、堤とう、 駐車場、道路、 運動場、宅地、 のり面等	一年生及び 多年生雑草	雑草生育 初期～中期	15～25kg/10a	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺地 に雑草茎葉散布	3回以内 (全面土壌散布は 1回以内、但し当該 処理をする場合には 雑草茎葉散布は 1回以内)
		竹類	生育期	45～60kg/10a	1回	植栽地を除く 樹木等の周辺地 に全面土壌散布	
開墾後に栽培する 農作物等	開墾地	一年生及び多年生 雑草	雑草生育期 (積雪時及び 土壌凍結時 を除く)	15～25kg/10a	—	全面均一散布 空中散布	—
まつ からまつ えぞまつ とどまつ	地ごしらえ	雑かん木 ササ類 ススキ	(積雪時及び 土壌凍結時 を除く)	10～20kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内
	下刈り					空中散布	
	地ごしらえ 又は 下刈り	ススキ	雑草生育期 (草丈20cm以下)	30g/株径20cm 60g/株径30cm 85g/株径40cm		1回	
ぶな かんば	地ごしらえ	一年生及び多年生 雑草 雑かん木 ササ類 ススキ	(積雪時及び 土壌凍結時 を除く)	10～20kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内
	下刈り					空中散布	
すぎ ひのき	地ごしらえ	一年生及び多年生 雑草 雑かん木 ササ類 ススキ	(積雪時及び 土壌凍結時 を除く)	10～20kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内 (全面土壌散布は 1回以内、但し当該 処理をする場合には 雑草茎葉散布、 全面均一散布、 空中散布及び 株処理は 合計1回以内)
	下刈り					空中散布	
	地ごしらえ 又は下刈り	ススキ	雑草生育期 (草丈20cm以下)	30g/株径20cm 60g/株径30cm 85g/株径40cm	1回	株処理	
	林地、放置竹林	竹類	生育期	45～60kg/10a	—	全面土壌散布	

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農薬の総使用回数
樹木類	林地、放置竹林	竹類	生育期	10～20g/本	—	節間に穴を開け そのまま投入	—

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農薬の総使用回数
水稲 (水稲刈取跡)	一年生雑草 多年生イネ科雑草	水稲刈取後 (秋期雑草生育期)	全土壌	20～25kg/10a	1回	水稲刈取跡に 全面土壌散布	—
	オモダカ			30～40kg/10a			

効果・薬害等の注意

- 本剤は、主として根から吸収されて雑草木を枯死させる除草剤で、ススキの抑制、故殺するには株元やその周辺にスポット散布する。
- 雑かん木、ススキ、一年生及び多年生雑草防除に使用する場合は、対象雑草木が萌芽し、新葉が展葉をはじめた時期に散布する。
- 地ごしらえの場合は、手まき、手動または、風速の大きい動力散布機で地ごしらえ地全面にまき残しのないよう散布する。
- 下刈りの場合は、風速を小さくした動力散布機で茎葉または土壌表面に均一に散布する。
- 本剤は、空中散布の場合、ヘリコプター用微粒散布装置によって散布する。
- 降雨時の散布または降雨の予想される時の散布は、効果を減ずるので散布を見合わせる。
- 下刈りの場合、降雨時または降雨後など、植栽木の茎葉がぬれている時の散布は、薬害を生ずるおそれがあるので、植栽木をさけて散布する。
- 開こん地、または林地の地ごしらえに使用した場合、散布後3ヶ月以内は樹木の植付、播種などはしない。
- 下刈りに使用する場合、植付当年は使用しない。
- 竹類の節間投入処理の場合は、ドリル等で穴を開け、ろうと等を用いて粒剤のまま投入し、投入後は穴をコルク栓等で塞ぐ。
- 本剤を水稲刈取跡に使用する場合には、次の事項に注意する。
 1) 一年生雑草および多年生イネ科雑草防除に使用する場合は、水稲刈取後、秋期雑草生育期に使用する。
 2) オモダカに使用する場合は、水稲刈取後なるべく早く使用する。
 3) 本剤は排水良好な一毛田で使用し、散布前に落水し、全面に均一に散布する。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しない。また、樹木等有用植物の根が分布していると思われるところでは使用を避ける。

この印刷物の記載内容は2015年1月現在のものです。

●ご使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋等は圃場に放置せず適切に処理してください。

安全使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする(養蚕)。
- 本剤は従来品に比べて難燃性に製剤してあるが、散布前後には散布機をよく清掃して油や汚れを拭き取る。
- 散布時本剤が身体や作業衣に付着の少ないよう風向等に注意し、散布したところを歩かない。
- 本剤のしみこんだ作業衣は、火気に対して燃えにくくなっているが、作業後水洗いする。
- 水源地、飲料水等に本剤が飛散・流入しないよう十分注意する。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼する。
- 公園、堤とう等を使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 本剤は家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので保管に注意し、また使用直後の使用区域への家畜の放飼は行わない。

保管・取扱い上の注意

- 必ず責任者を決めて保管庫に入れ、鍵をかけて保管する。火気を避け、直射日光の当たらない鍵のかかる低温で乾燥した場所に密封して保管する。使用残りの薬剤は必ず鍵のかかる安全な場所に保管する。
 - 本剤はリン、イオウ、アンモニア塩類およびアンモニア性肥料、ガンリン・灯油等の油類、強酸性物質、木・繊維類のような可燃物との混合は危険なので、同一保管をさける。
- ★盗難・紛失の際は、警察に届ける。移送取扱いは、ていねいに行う。
 ★火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。

(販売) **丸善薬品産業株式会社**
 SINCE 1895
 東京 東京都千代田区鍛冶町 2-9-12(神田徳力ビル) ☎03-3256-5561
 大阪 大阪府中央区道修町 2-4-7 ☎06-6206-5531
 福岡 福岡市博多区奈良屋町 14-18 ☎092-281-6650
 札幌 札幌市中央区大通西 8-2-38(ストーク大通ビル) ☎011-261-9024
 仙台 仙台市青葉区大町 1-1-8(第3青葉ビル) ☎022-222-2790
 名古屋 名古屋市中区丸の内 1-5-28(伊藤忠丸の内ビル) ☎052-209-5661

(製造) 株式会社 **イスター・イステック**
 東京都中央区東日本橋1-1-5 ☎03-5825-5522